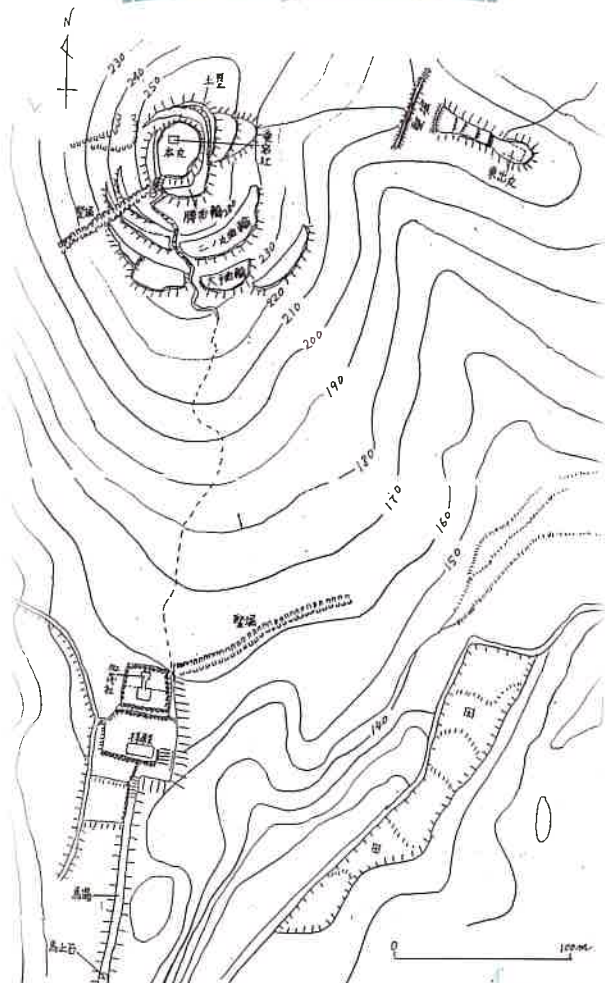


米田城遺跡図

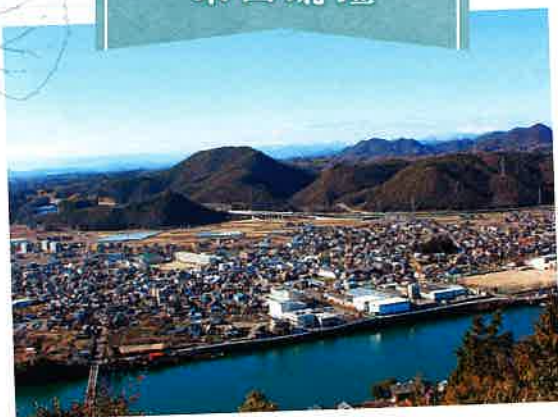


米田城遺跡図

(かわべの文化遺産～史跡名勝天然記念物編～から)

この遺跡図には、米田城本丸のほか、大手曲輪や二ノ丸曲輪などの防備施設、山頂の南斜面の中腹には現在の加茂神社が描かれています。加茂神社から山頂を結ぶ点線は、現在の登山道とほぼ合致しています。

米田城址



米田城は、標高268メートルの山頂に物見矢倉程度の城があった。「米田庄 肥田軍記」によると、初代城主の肥田兵部少輔軌吉(忠直)が権現山に築いたとされ、その子、玄蕃允軌休(忠政)が永禄3年(1560)に加茂山に移築したとされる。肥田氏はこの城を拠点として、米田庄一帯を支配していった。

また、肥田氏が米田庄を支配する以前には、川辺町福島の地名の起源となった福島一族が居住していた。一族は美濃源氏の出身で、左近将監政清が領主、その子、政家が大永年間に尾張に移住し、その孫にあたる市松が秀吉に仕えた福島政則であるとの記録も残っている。

室町時代の末期には、美濃守護土岐政房が、この城に逃れて移住したとの記録があり、また、同じ室町時代、飛騨の三木氏が米田城を攻略したことなどが伝えられている。

天正10年(1582)、金山城主(可児市兼山町)森長可の軍によって攻囲され、米田城は落城し、以後廃城となった。山頂には、当時の礎石や堀の跡などが残っている。

お問合せ先

川辺町役場 産業環境課

☎0574-53-7212

〒509-0393 岐阜県加茂郡川辺町中川辺1518-4

HP <http://www.kawabe-gifu.jp/>

facebook <https://www.facebook.com/kawabeboat>

かわべ 米田富士 散策 MAP

